

香深井小学校 学力向上プラン

【学校教育目標】

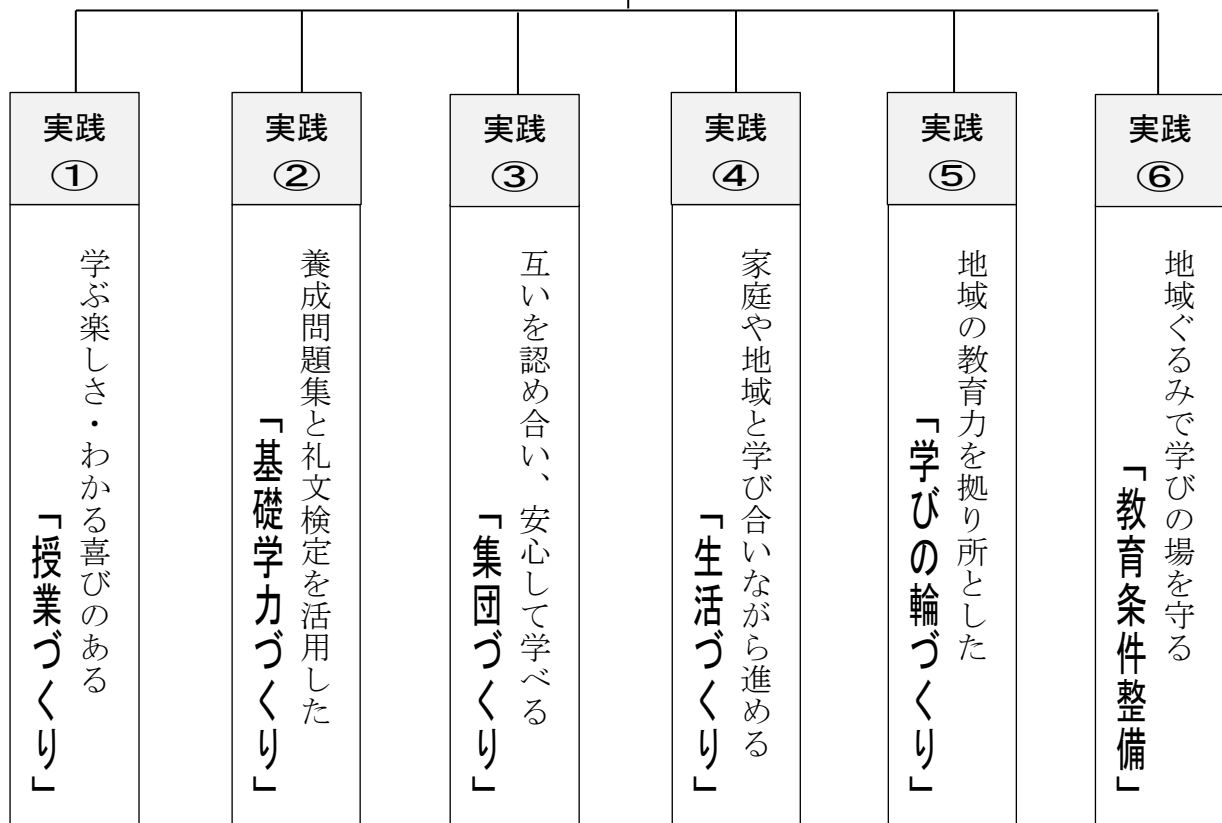
- げんきな子 ～健康な体をつくり、きたえる子
- あかるい子 ～やさしい心を持ち、善悪を判断できる子
- かんがえる子 ～意欲を持ち、学力を身につける子
- がんばる子 ～進んで働き、友だちと協力する子

【児童に見られる学習の状況】

- ◇粘り強く、真面目に学習に取り組む。学習規律も確立されている。
- ◇家庭での学習習慣がほぼ定着しているが、自学自習の力がまだ弱い。
- ◇基礎的内容は管内・全道平均レベルでの定着が見られる。
- ◇思考力・判断力・表現力といった、学んだことを活用する力がまだ弱い。
- ◇理解や習熟における個人差が顕著で、大きく支援を必要とする児童もいる。

【学習指導で目指す3つの到達点】

1. 全ての児童に基礎的学力を保障する。
2. 思考力・判断力・表現力を向上させる。
3. 学ぶ喜びがわかる児童を育てる。



実践①	学ぶ楽しさ・わかる喜びのある「授業づくり」
授業づくりの基本を相互に学び合い、毎日の学習指導の充実を目指す。	
●児童一人ひとりの学習の状況の共有 ●教材や指導過程、評価の工夫および児童の実態に則した複式授業の計画と実践 ●町内外と連携した研究・研修の推進（礼文町研・管内研・へき複研等） ●学校研究の推進と、学んだ力を活用する力を醸成する実践づくり	

実践②	養成問題集と礼文検定を活用した「基礎学力づくり」
6年間をかけた取組を通して、粘り強さと「やればできる」という自信を育てる。	
●基礎学力養成問題集を活用した学習習慣づくり ●学び合いや個別指導を取り入れた、遅れがちな児童への支援の充実 ●礼文検定での学年相応の内容合格を目標とした、全校での取組づくり	

実践③	互いを認め合い、安心して学べる「集団づくり」
校風「思いやり」を合言葉に、児童のコミュニケーション力や主体性を育てる。	
●心のこもった「あいさつ」や「言葉遣い」、「マナー」の習慣化 ●協調性と学年の自覚を高める、全校活動・縦割り活動の継続 ●主体性を伸ばす学級活動・児童会活動での工夫 ●「いじめ防止基本方針」に基づいた、安心感のある集団づくり	

実践④	家庭や地域と学び合いながら進める「生活づくり」
家庭・地域の協力のもとに基本的な生活習慣や学習習慣の維持に努める。	
●「学習・生活の手引き」の配布と、家庭と共同での習慣づくり ●家庭訪問や各種懇談、日常の連携を通じた子育て支援 ●「子育て・親育ち」を学ぶPTA活動づくり	

実践⑤	地域の教育力を拠り所とした「学びの輪づくり」
「子どもの活躍が地域を明るくし、地域の声が子どもを励ます」つながりを守る。	
●生き方やふるさとへの誇りを学ぶ「礼文学」の推進 ●保小中高が連携した、一貫性と一体感のある活動の追求 ●地域の人材や施設・環境の積極的な活用 ●学校だよりや学校HP、各種案内を通じた情報発信とお誘い活動	

実践⑥	地域ぐるみで学びの場を守る「教育条件整備」
学校・家庭・地域が力を合わせ、教育条件の整備・充実を図る。	
●児童が安心して学べる学校施設・環境・制度の維持 ●児童の力を伸ばし、家庭の願いに応える複式教育の推進 ●「へき地級地をめぐる動き」への注目と、地域をあげての教育条件維持	